

令和 6 年 度 事 業 報 告 書

1 事業期間

令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日

2 利用定員と利用実績

<就労継続支援 B 型事業>

定員 20 人 利用登録者 22 人 前年と変わらず

開所日数 251 日(前年 252 日)前年より 1 日減

利用月	4	5	6	7	8	9	前期
開所日数	22	22	21	23	18	20	126
延利用人数	392	407	404	423	331	367	2,324
月平均	18.8	18.5	19.3	18.4	18.4	18.4	18.6
利用月	10	11	12	1	2	3	後期／年間
開所日数	23	21	21	20	19	21	125／251
延べ利用人数	445	394	390	332	340	390	2,291／4,615
月平均	19.4	18.8	18.6	16.6	17.5	18.5	18.4

前年度 延べ利用者数 4,754 人(139 人減)

平均利用者数 18.9 人(0.5 人減)

<生活介護事業>

定員 10 人 利用登録者 8 人 前年より 2 人減

開所日数 251 日(前年 244 日)前年より 7 日増

利用月	4	5	6	7	8	9	前期
開所日数	22	22	21	23	18	20	126
延利用人数	123.7	121.7	118.2	127.2	88.2	98.2	677
1 日平均	5.6	5.5	5.6	5.5	4.4	4.9	5.4
利用月	10	11	12	1	2	3	後期／年間
開所日数	23	21	21	20	19	21	125／251
延利用人数	113.8	104.2	96.3	97.5	98.7	103.5	614／1291
1 日平均	4.9	4.9	4.6	4.8	5.2	4.9	5.1

前年度 延べ利用者数 1,956 人(665 人減)

平均利用者数 8.1 人(3 人減)

3 職員体制

就労継続支援 B 型職員(常勤換算)

基準上の必要職員数 3.2 人 職員数 3.6 人(目標工賃達成指導員は含まれない)

	常勤職員	非常勤職員
目標工賃達成指導員	1 人	
職業指導員	2 人	1.1 人
生活支援員		0.5 人

作業補助員 0.25 人(非常勤)

令和 6 年 度 事 業 報 告 書

生活介護職員(常勤換算)

基準上の必要職員数 2.3 人 職員数 2.8 人(看護師、嘱託医は含まれない)

	常勤職員	非常勤職員
生活支援員	2 人	0.8 人
嘱託医		1 人
看護師		1 人

管理部門職員(職員数)

	常勤職員	非常勤職員
管理者	1 人(兼務)	
サービス管理責任者	1 人(兼務)	
事務員		1 人
送迎職員		3 人

8 月より送迎職員 1 人採用、3 月に送迎職員 1 人退職

4 障害福祉サービス、制度の利用状況

	就労継続支援 B 型	生活介護
短期入所	3	2
グループホーム(GH)	4	4
居宅介護(ホームヘルパー)	1	1
成年後見人制度	2	2

新たに 3 人が GH へ入居。

5 作業支援

< 就労継続支援 B 型事業 >

工賃実績	令和 5 年度	令和 6 年度
平均工賃月額	12,432 円	16,514 円
年間工賃総額	3,282,163 円	3,626,464 円

前年までは、年間工賃支払い総額÷利用在籍者人数÷12 カ月で平均工賃を算出

3,626,464 円÷22 人÷12 カ月=13,736 円

新算出方法では、年間工賃支払い総額÷(年間延べ利用者数÷年間開所日数)÷12 か月

3,626,464 円÷(4,603 人÷251 日)÷12 カ月=16,514 円

工房

① 企業への受注数を現在より増やしていただく交渉をする。新規受注先を開拓する。

交渉により、一部企業では受注が増加した。新規の開拓を行い、複数の企業から新規受注を受けるが納期に間に合わせることができず取引できなかった企業があった。大量の不良品を出してしまい取引が危うくなる場面もあった。新規企業は、まだ安定した収入には至っていない。

令和 6 年 度 事 業 報 告 書

② 除草作業に関わる職員・利用者を増やし技術の向上、効率化を目指した。

現状、除草作業に関わる職員・利用者が限られていて人数も少ない。様々な環境の変化で、作業により時間も日数もかかっているため、件数をこなせず、成果が得られなかった。

③ 販売委託先の巡回、委託先の開拓 催し物へ積極的に参加する。

販売委託先が増えたため、商品の補充、売上の回収などの巡回頻度が高くなった。

(藤枝特別支援学校様)ふじとくまつり、ふじとく発表会、それぞれに出店。

(静岡県庁様)県庁内で開催されたバレンタインフェアに出店。

(静岡県遊技業協同組合理様)組合に加盟する店舗で端玉景品として購入いただきました。

(中部健康福祉センター様)障がい者週間啓発のための景品として購入いただきました。

<喫茶>

① 物価高騰を受け、モーニングサービス 250 円⇒300 円に その他の値上げも検討

モーニングサービスは、予定通り 300 円に引き上げました。その後、サービス自体を終了しました。

② 商品開発・・・ランチそしてデザート系も積極的に試行していきます。特にデザートは

一つの課題とも言えますし、また大きな戦略の一つとして取り組みます。

ランチについては、調理員を中心に新たなメニューを開発して下さり大変に有難かったです。

お客様の声をお聞きますと「いろいろなおかずがついてきて、栄養のバランスも良くてうれしい」「しかもワンコイン」という方が多いです。メインディッシュ以外に煮物やサラダが付くことは、より豪華に見える効果もありますし今後も継続してまいります。本年度の人気メニューは①ダントツで天井②ハンバーグ③親子丼この人気メニューを維持しながら、次年度も新たなメニューの開発をみんなで創作していきます。今まで、1番人気であったフライの盛り合わせも夏野菜が育ってきたころに復活させていただきます。デザートもランチにミニケーキや和菓子を付け、お客様に喜んでいただきました、

③ 安価な食材・日用品探しは、これまでと同様いつも大切にしていきます。

この1年、物価の高騰は本当に激しく、安い食材探しはいつも中心的な課題でした。そんな中、調理スタッフが常に探して続けていただいていることに本当に感謝です。

今後も『安くて美味しい食材探し』また『日用品探し』をみんなで心がけていきたいです。

④ 畑の有効利用・・・有機肥料の下準備からしっかりして備えます。

土作りから、少し意識して取り組みましたが、結果成果には至りませんでした。成功したのはピーマン、いんげん、でしょうか。まだまだ素人で反省しきりです。ただ、店自体が忙しくなり、畑作りに時間を割くことが少々しんどくなっているのも事実です。

令和 6 年 度 事 業 報 告 書

⑤ ホットショーケースの利用・・・なるとの串揚げ他もろもろ試行・販売します。

この点もちよっと消化不良でした。正直、忙しくてここまで手を伸ばせませんでした。

⑥ 店頭販売の拡大・・・伸びしろ、は色々あるので厨房と相談します。昨年いただいたテーブルを有効利用します。

忙しすぎてこの点もあり広げられませんでした。

⑦ 繋がりをより広げ深める・・・お客様との出会いに感謝！これにつきます。

本年度も新たな繋がりがうまれたり、深まったりすることで売り上げが大きく伸びました。つねに感謝の気持ちを持ってお付き合いをさせていただいたことが良い結果に繋がってきたと思います。利用者さんスタッフの笑顔とフレンドリーさが導いてくれています。運営の肝です。

⑧ ユニフォームを新しくする・・・スタッフのモチベーションを高める手立てであり、お客様にも接客でアピールしていきます。

年度初めにユニフォームを新しくしました。お客様にも好評でスタッフも気持ちも新たに組み込んで下りました。

⑨ 貸出・お持ち帰り図書の拡大・・・野いちご全職員に呼びかけさせていただきます。

図書が大きく増えたわけではありませんが、本を目的にランチを食べに来てくれるお客様もいらっしゃいます。雑誌・本配布会(静岡市)に行つて増やす予定です。

⑩ 飼育の種類を増やします(カナヘビの繁殖)。利用者からの提案です。

カナヘビの繁殖はできませんでしたが、めだかとカメは元気でお客様の目を楽しませてくれています。

⑪ テラス席設置の検討・・・以前から考えているのですが、検討・実現への思いです。

年度実施は難しいですが2,3年内には実現したいです。保留ですね。これも伸びしろです。

⑫ 野いちご祭り開催(土曜日にちょっとした感謝祭営業)も検討してみましようか(かなり検討要素はありますので実施は令和7年で)。

今後野いちご全体で考えて行きます。スタッフ一人ひとりに喫茶の重要な役割を担っていただき、活躍していただくと同時に、厨房・ホール及び全体がよりチームとして有機的に動き、高めていけるような喫茶運営を目指していきます。

令和 6 年 度 事 業 報 告 書

<生活介護事業>

工賃支給実績

	令和 6 年度	令和 7 年度
年間工賃総額	35,154 円	33,174 円
一人当たり平均	3,906 円	4,739 円

利用者数の変化について

利用者は減員となりましたが、支援者の配置が手厚くなり、より個々人の訴えや要望に寄り添い、支援を行う事に繋がっています。

生産活動について

生産活動では、これまでと同様に資源回収分別作業をして業者に搬入しています。

回収の際に地域の方々と関りが持てる良い機会となっています。

個別の意向により、作業力を高めるために工房から作業を一部分けていただき取り組みました。

食品に関わる作業のため、作業者の衛生管理が重要であり、その保持の難しさ、作業の進め方に工夫が足りず、計画した成果を得ることができませんでした。工賃支給については、年数回の支給を目指していましたが、半期(10月/3月)の支払いに留まってしまいました。

健康管理について

登所時の体温、血圧、体重などの測定、意識、体調の確認を継続しています。

毎月の医師訪問時に医師や看護師から利用者の健康状態を確認、生活の様子などを聞き取り、生活を高めるための助言、指導をいただいています。

一人一人に合わせたウォーキング、ラジオ体操、リズム体操、ヨガなどの運動を続けることで、歩くことや運動することを楽しんでいただけるようになっています。

社会貢献活動について

週に一度、地域清掃として、事業所の近隣のごみ拾いを行っています。地域の一員として活躍できる場となっています。

6 職員(援助者)の資質の向上

部署別連絡会(工房・喫茶/生活介護)・全体連絡会(毎月)実施

・各部署で常勤・非常勤に関わらず全スタッフで情報共有や意見交換を行いました。

施設内研修の開催・法人全体にて実施(営業時間を短縮して実施)

・各部署の援助技術、知識の共有、支援力の強化に取り組みましたが、研修の計画、進め方そして、具体的な研修内容については、改善の必要があり、十分な成果は得られませんでした。

令和 6 年 度 事 業 報 告 書

研修報告(外部)

月	研修内容	主催	受講者
6	障がい福祉従事者研修	焼津市障がい福祉課	サービス管理責任者
	所得税・住民税定額減税制度研修	静岡県作業所連合会	管理者
7	売れる売り場づくり	オール静岡 ベストコミュニティ	目標工賃達成指導員
9	高齢者・障がい者施設のための感染症講座	静岡県社会福祉 人材センター	生活支援員
10	行動障がい支援に役立つ 「基本のコツ」講座	静岡県社会福祉協議会	生活支援員
12	処遇改善攻略セミナー	静岡県社会福祉協議会	管理者
2	作業所で自主製品を 作る目的とは	オール静岡 ベストコミュニティ	目標工賃達成指導員

8 非常災害対策(安全管理)

法定研修

業務継続計画に関する研修 年 1 回実施 感染症対策研修 年 1 回実施

法定訓練

非常災害対策計画に伴う訓練 年 1 回実施

避難確保計画に伴う訓練 生活介護 年 6 回 就労継続支援 B 型 年 4 回実施

その他

消防設備等の点検 業者による定期点検(年 3 回)

救命講習(志太消防本部による救命講習 職員 4 人受講

9 虐待の防止のための措置

虐待防止委員会、身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者への周知徹底に努めています。

虐待防止委員会、身体拘束適正化検討委員会の開催 年 2 回開催

虐待防止研修 年 1 回実施身体拘束等適正化研修 年 1 回実施

10 月障害虐待防止研修(全職員対象)JIC セントラル(株)より講師を招いて開催

10 情報の公表

独立行政法人福祉医療機構 WAM NET(ワムネット)が運営する「障害福祉サービス等情報」に登録、情報公開することで、全国、いつでも誰でも気軽に当事業所の詳細な情報を検索、入手することができます。